

2019年（平成31年）2月13日

輸送動向について（平成31年1月分）

1. 輸送概況

今月は、東北線・日本海縦貫線等での輸送障害および山陽線本復旧工事の影響により、高速貨112本が運休となった（前年は、高速貨350本、専貨4本が運休）。

コンテナは、関東地区の建設発生土や焼却灰の輸送が順調なエコ関連物資、関西・東北地区間などにおいて増送となっている積合せ貨物が好調に推移したほか、一般消費者用電気機器の販売好調に伴って家電・情報機器が前年を上回った。

一方、化学工業品や化学薬品は国内需要が減少しており、大幅な減送となった。また国内での販売不振に伴って出荷が落ちている紙・パルプ、輸出用が低調に推移している自動車部品等で前年を下回った。コンテナ全体では前年比99.6%となった。

車扱は、石油が前年より若干気温が高く推移したため灯油等の需要が減少したことに加え、セメントが在庫調整により減送となった。車扱全体では前年比97.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比98.7%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,641	1,648	99.6%	16,538	18,590	89.0%
車 扱	920	948	97.0%	7,346	7,459	98.5%
合 計	2,561	2,596	98.7%	23,884	26,048	91.7%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	146	147	-1	99.4%
	化学工業品	146	156	-10	93.6%
	化学薬品	121	127	-6	95.6%
	食料工業品	227	231	-4	98.1%
	紙・パルプ	236	242	-6	97.5%
	他工業品	120	119	1	100.6%
	積合せ貨物	216	206	10	105.1%
	自動車部品	68	73	-5	92.8%
	家電・情報機器	32	30	2	105.6%
	エコ関連物資	55	38	17	144.8%
	その他	275	279	-4	98.5%
	コンテナ計	1,641	1,648	-7	99.6%
車 扱	石油	648	651	-3	99.6%
	セメント・石灰石	131	144	-13	91.1%
	車 両	87	93	-6	93.9%
	そ の 他	53	60	-7	88.4%
	車 扱 計	920	948	-28	97.0%
合 計		2,561	2,596	-35	98.7%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）